

馬瀬川第一発電所

施設管理者 : 中部電力 (株)
施設所在地 : 岐阜県下呂市金山町乙原 1541-3
調査見学時期 : 平成 11 年 11 月 11 日

施設概要

最初、岩屋ダムを見学しました。岩屋ダムは、飛騨川の支流馬瀬川に作られた、洪水調節、かんがい用水、水道用水、工業用水、発電の目的を持った多目的ダムで、中部電力で初めてのロックフィルダムです。

次に、馬瀬側発電所の見学を行いました。馬瀬川第一発電所は、ダム右岸側地下にあり、岩屋ダムを上池、馬瀬川第2ダムを下池とする揚水式発電所です。

当日、大型バスで、地下発電所内へ、直接乗り入れ、その規模の大きさに驚かされました。また、第一発電所に採用されている斜流形ポンプ水車は、1ユニット当たり容量14万9千キロワットで、斜流形ポンプ水車として、世界最大だそうです。また、主要な発電設備が、地下に納められているため、馬瀬川の、美しい景観が守られ、岩屋ダムのダム湖が、秋の紅葉に映えて静かなたたずまいを見せていたのが、印象的でした。(GECニュース第123号より抜粋)